

# 株式会社アドバンスクリエイト 平成29年9月期第2四半期 業績説明資料

---

(平成28年10月～平成29年3月)



平成29年5月12日



## 本誌取扱上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

# 目次

<u>I. 平成29年9月期第2四半期の状況</u>	4
■ 決算概要	5
■ 営業管理データ	9
<u>II. 当社の戦略について</u>	18
■ はじめに	19
■ ビジネスモデル	20
■ マーケティング戦略	21
■ 投資戦略	23
■ 管理体制	24
■ 資本政策	25
■ CSR活動	26
■ 総括	27

## I . 平成29年9月期第2四半期の状況

---

## 平成29年9月期第2四半期 決算ハイライト

### － 連結業績 －

売上高	3,887百万円となり、前年同期比91百万円の増収
営業利益	455百万円となり、前年同期比186百万円の減益
経常利益	452百万円となり、前年同期比175百万円の減益
四半期純利益	331百万円となり、前年同期比44百万円の減益

配当については、第2四半期・期末ともに1株あたり22円50銭、年間合計は1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

## 平成29年9月期第2四半期 損益計算書（連結）

(単位:百万円)	平成28年9月期 第2四半期	構成比(%)	平成29年9月期 第2四半期	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	3,796	100.0	3,887	100.0	2.4
保険代理店事業	3,376	88.9	3,438	88.4	1.8
メディア事業	430	11.3	432	11.1	0.5
再保険事業	311	8.2	336	8.7	8.1
全社消去	▲ 322	▲ 8.5	▲ 319	▲ 8.2	—
売上原価	751	19.8	917	23.6	22.0
売上総利益	3,044	80.2	2,970	76.4	▲ 2.4
営業費用	2,402	63.3	2,514	64.7	4.7
営業利益	642	16.9	455	11.7	▲ 29.1
保険代理店事業	480	12.6	280	7.2	▲ 41.7
メディア事業	103	2.7	107	2.8	4.0
再保険事業	57	1.5	66	1.7	15.6
経常利益	627	16.5	452	11.6	▲ 27.9
四半期純利益	376	9.9	331	8.5	▲ 11.8
一株当たり四半期純利益(円)	34.83		31.17		

※前期第3四半期より、セグメント上において広告代理店事業をメディア事業に名称変更しております。

- 売上の状況は、マイナス金利等の影響による学資・年金保険等貯蓄性商品の販売停止や代理店手数料率の相対的低下等、厳しい外部環境の中、事業の根幹であるWEB資料請求や商談数(アポイント数)が好調に推移したことにより、保険代理店事業においては増収となりました。メディア事業においては、WEBサイト「保険市場(ほけんいちば)」の媒体価値向上に伴いメディア関連収入が堅調に推移し、再保険事業も引き続き順調に推移いたしました。以上の結果、売上高は2.4%の増収となりました。
- 利益面では、メディア事業及び再保険事業は引き続き好調を維持し増益となったものの、保険代理店事業においてはマーケティングコスト及び人件費等営業費用の増加に伴い減益となり、連結経常利益は27.9%の減益となりました。

## 平成29年9月期第2四半期 貸借対照表（連結）

(単位:百万円)	平成28年9月期末	平成29年9月期 第2四半期末	増減
流動資産	3,448	3,842	394
現預金	1,047	1,172	124
売掛金	866	868	1
未収入金	1,130	1,254	123
その他	403	547	144
固定資産	3,512	3,419	▲ 92
有形固定資産	643	582	▲ 60
無形固定資産	795	748	▲ 47
投資その他の資産	2,072	2,088	15
繰延資産	0	—	0
資産合計	6,960	7,262	301

(単位:百万円)	平成28年9月期末	平成29年9月期 第2四半期末	増減
流動負債	1,669	1,972	303
短期有利子負債	264	134	▲ 130
その他	1,404	1,837	433
固定負債	724	957	233
長期有利子負債	247	465	217
その他	477	492	15
負債合計	2,394	2,930	536
資本金	2,915	2,915	-
資本剰余金	352	352	-
利益剰余金	1,563	1,621	58
自己株式	▲ 363	▲ 638	▲ 274
その他	99	80	▲ 18
純資産合計	4,566	4,331	▲ 234
負債及び純資産合計	6,960	7,262	301

### 【資産】

資産合計は、前期末比で301百万円増加しております。  
 主な増加要因は、従業員持株会支援信託ESOPの再導入に伴う有利子負債の増加により、現預金が増加したことによるものです。

### 【負債及び純資産】

負債合計は、前期末比で536百万円増加しております。  
 主な増加要因は、上記ESOPの再導入に伴う有利子負債の増加によるものです。  
 純資産合計は、前期末比で234百万円減少しております。  
 これは、四半期純利益の計上により増加したものの、前期末配当金の支払い(273百万円)及び従業員持株会支援信託ESOPの再導入に伴う自己株式の増加(274百万円)により純資産が減少したことによるものです。

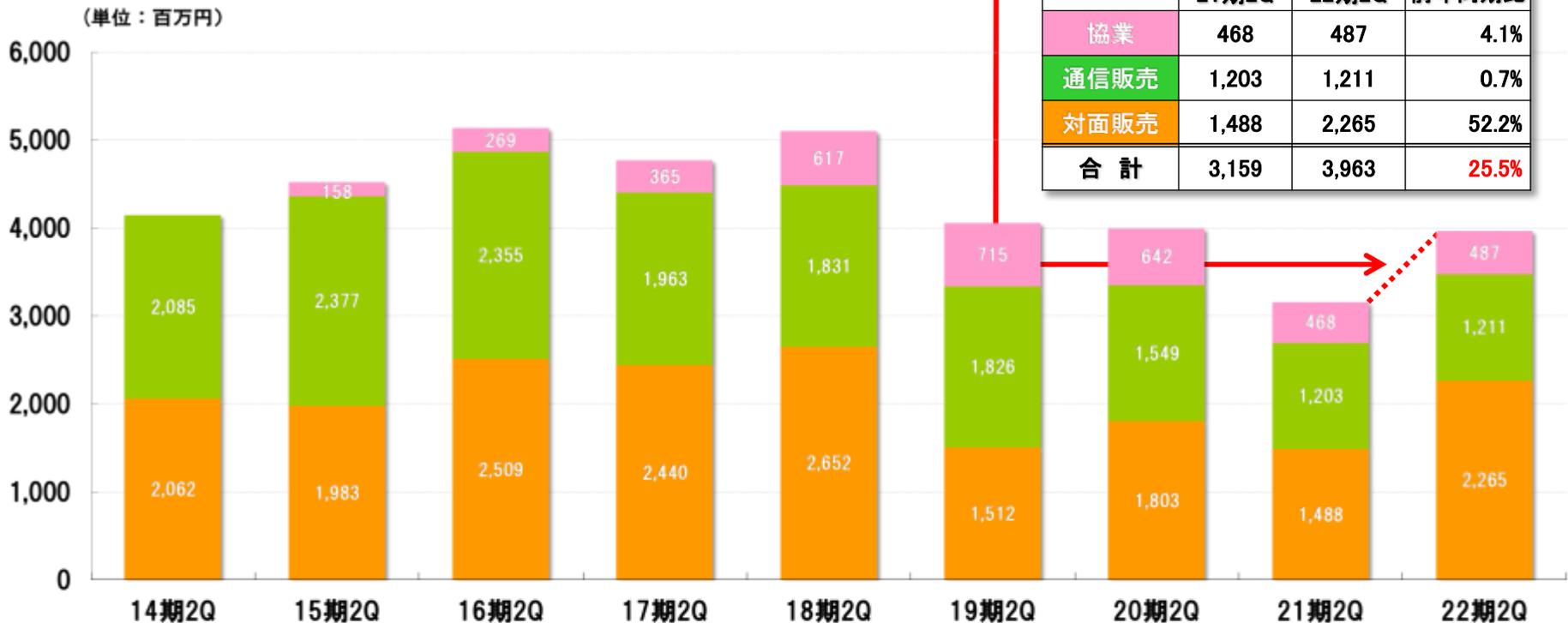
## 平成29年9月期第2四半期 キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位:百万円)	平成28年9月期 第2四半期	平成29年9月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	681	640	▲ 40
税金等調整前四半期純利益	594	498	▲ 96
減価償却費	145	211	66
その他	▲ 59	▲ 69	▲ 10
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 177	▲ 57	120
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 786	▲ 459	326
有利子負債の増減額	▲ 189	87	—
配当金の支払額	▲ 246	▲ 273	▲ 27
その他	▲ 349	▲ 273	76
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 0	▲ 0	▲ 0
現金及び現金同等物の増減額	▲ 282	124	406
現金及び現金同等物の期首残高	1,664	1,044	
現金及び現金同等物の期末残高	1,382	1,169	▲ 213

営業活動による収入は640百万円(税金等調整前四半期純利益の計上等)となり、投資活動による支出57百万円(無形固定資産の取得等)、及び財務活動による支出459百万円(配当の支払・有利子負債の返済・自己株式の取得)があったものの、現金及び現金同等物は前期末に対し124百万円増加し、1,169百万円となりました。

## チャネル別申込ANPの推移

対面販売部門の増加により、前年同期比**25.5%増**



※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPは60,000円となります。

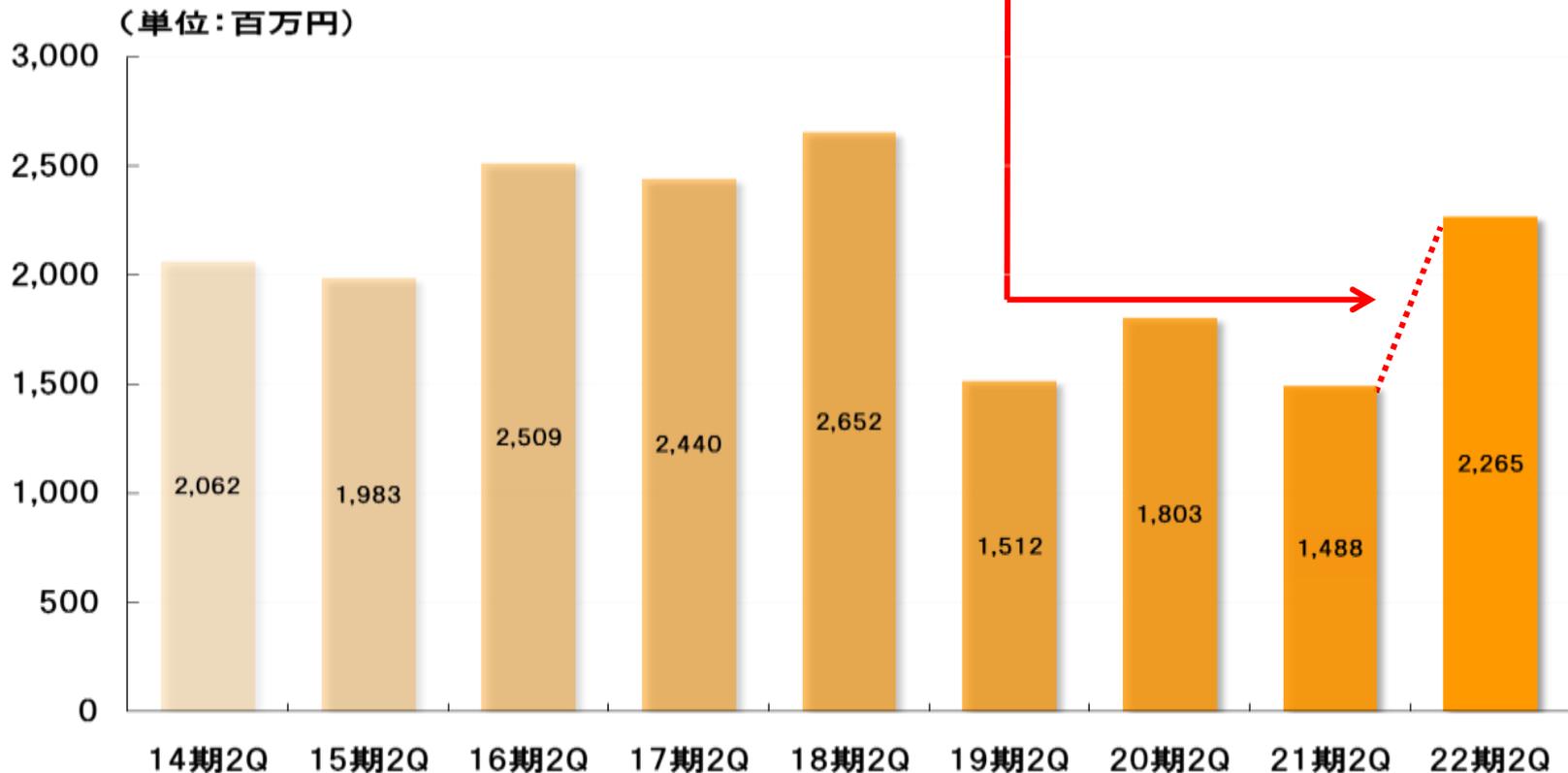
※当社グループの収益は、新規申込ANPベースでの収入の他、既存の保有契約ストックから得られる保険代理店手数料収入や、メディア関連収入、再保険事業収入等で構成されております。

※直近四半期については速報値ベースで記載しております。

※第21期より一時払い保険について調整を行っており、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

## 対面販売ANPの推移

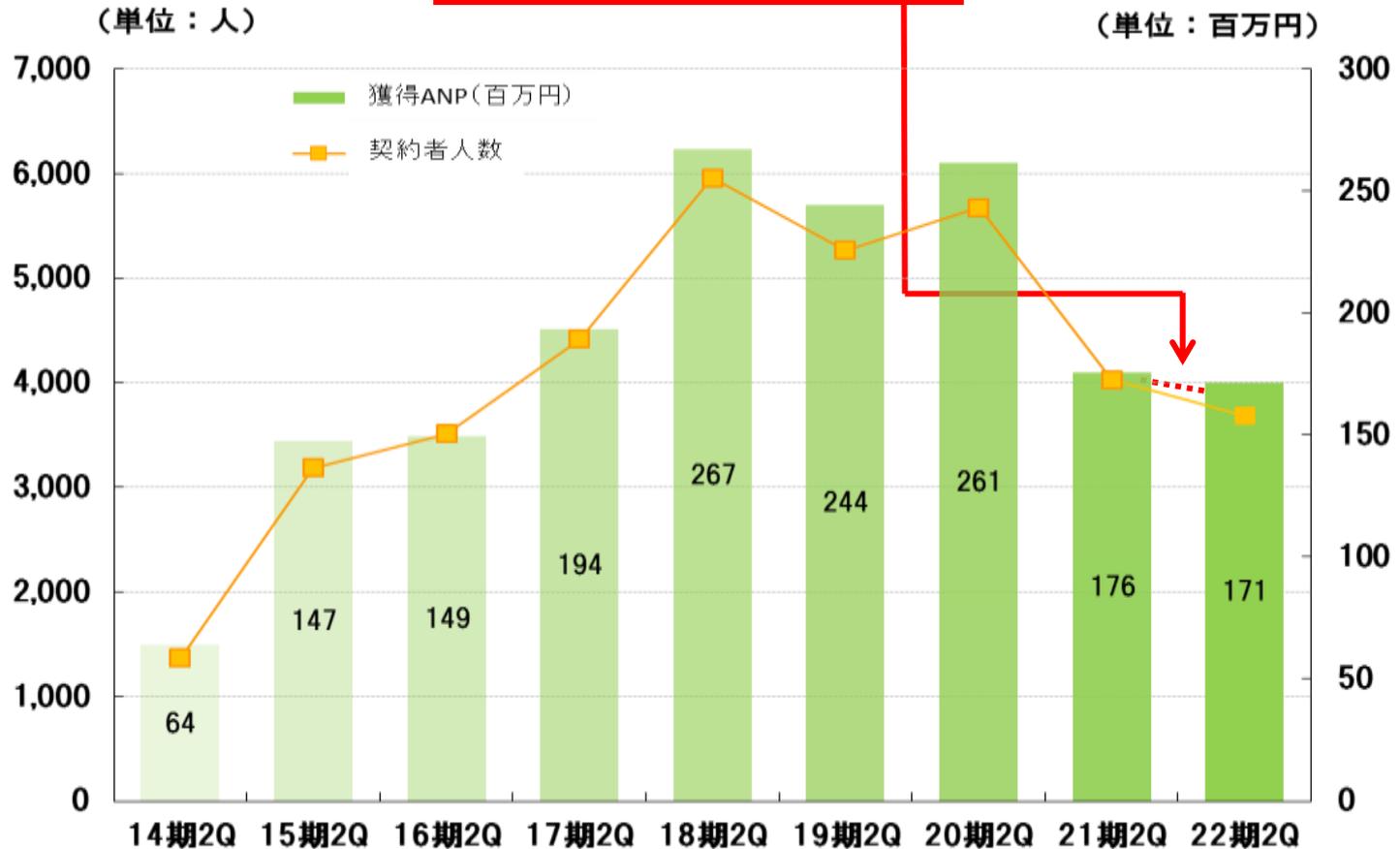
マイナス金利の影響により貯蓄性商品の販売が伸び悩む中、  
対面販売ANPにおいては前年同期比**52.2%増**



※対面販売ANPの計算上、一時払い保険について調整を行っております。

## ネット生保ANPの推移

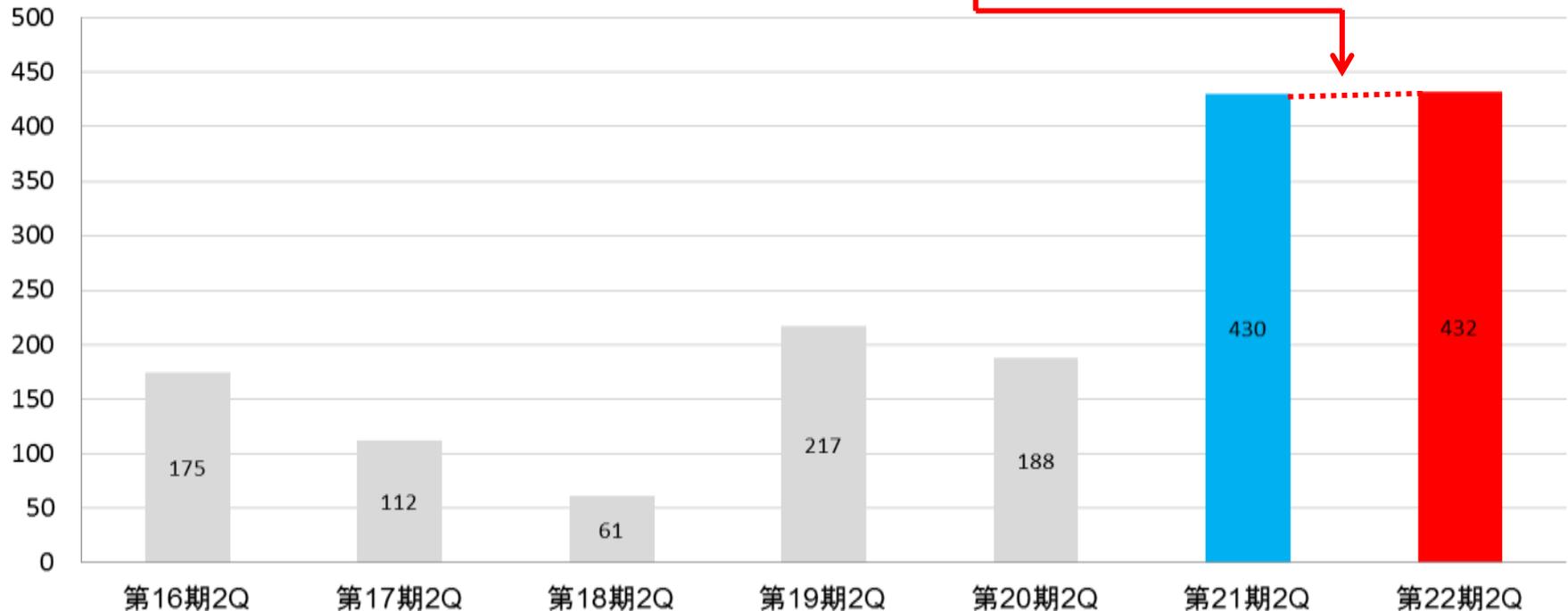
資料請求型プロモーションに傾注した結果、  
前年同期比**2.8%減**



## メディア収入の推移

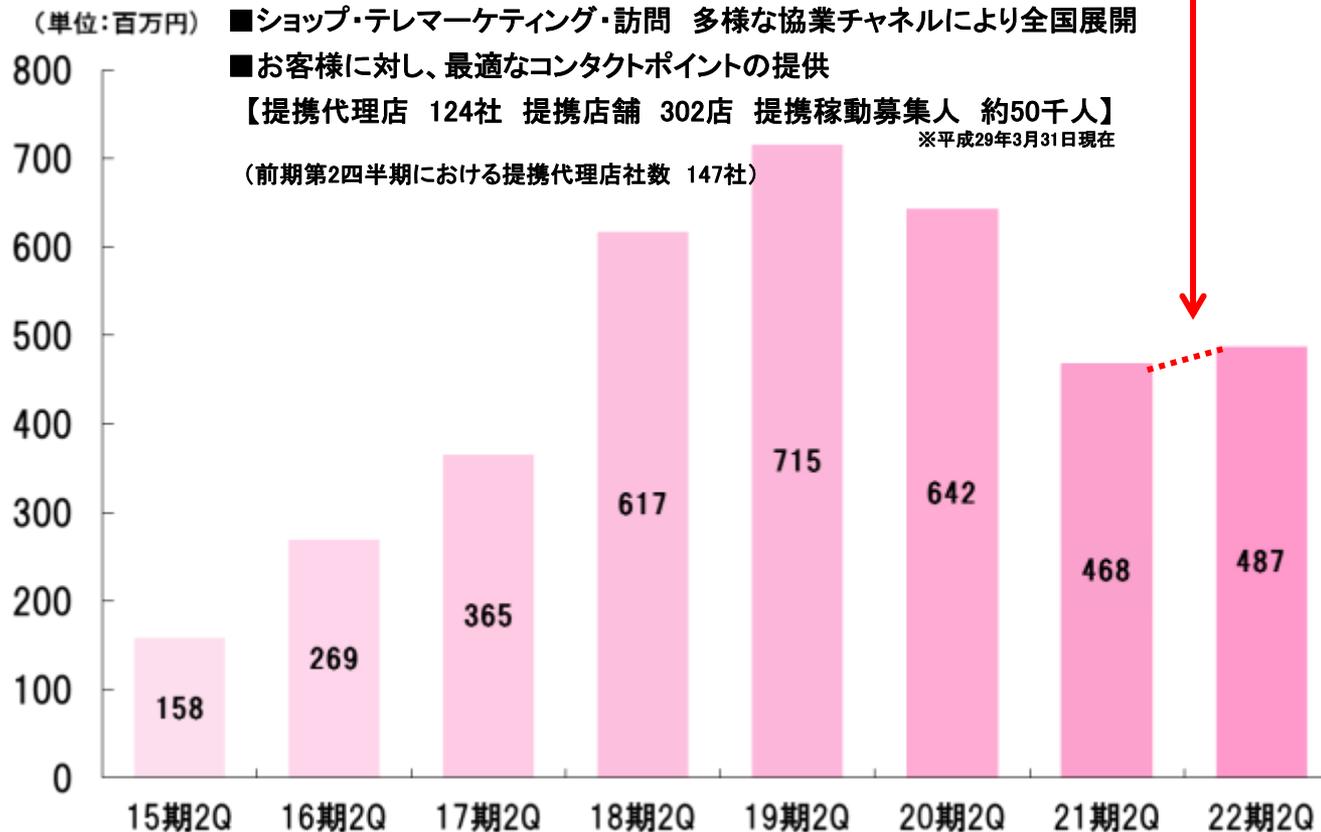
WEBサイト「保険市場（ほけんいちば）」の  
価値向上に伴い、前年同期比**0.5%増**

(単位:百万円)



## 協業ANPの推移

**管理体制強化のため提携先の集約化を図り、提携社数は23社減少  
協業においても貯蓄性商品が伸び悩む中、前年同期比4.0%増**



## 保有契約件数の推移

保有契約件数は順調に増加し、前年同期比**5.1%増**

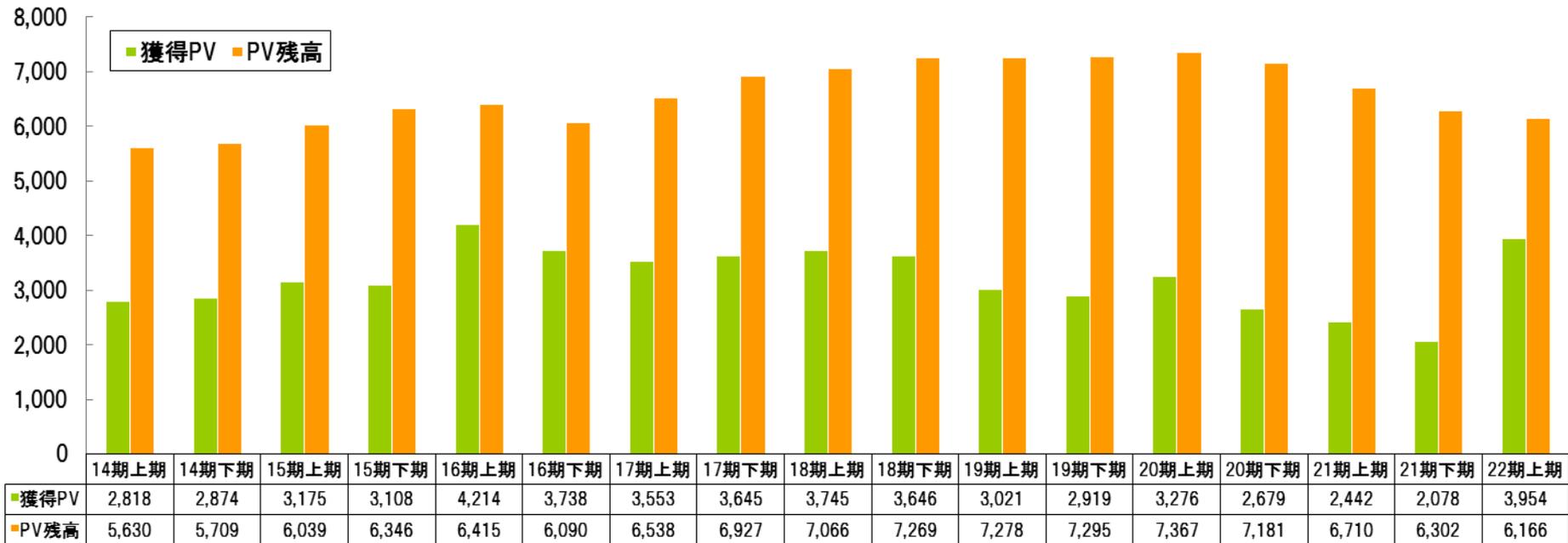


※ 保有契約件数の対象となるものは生命保険・医療保険等継続・更新されるものとし、短期傷害保険分(旅行保険等)については除いております。

## PV推移（保険代理店事業収益現在価値）

22期上期の獲得PVは3,954百万円となり、PV残高は6,166百万円となる

（単位：百万円）

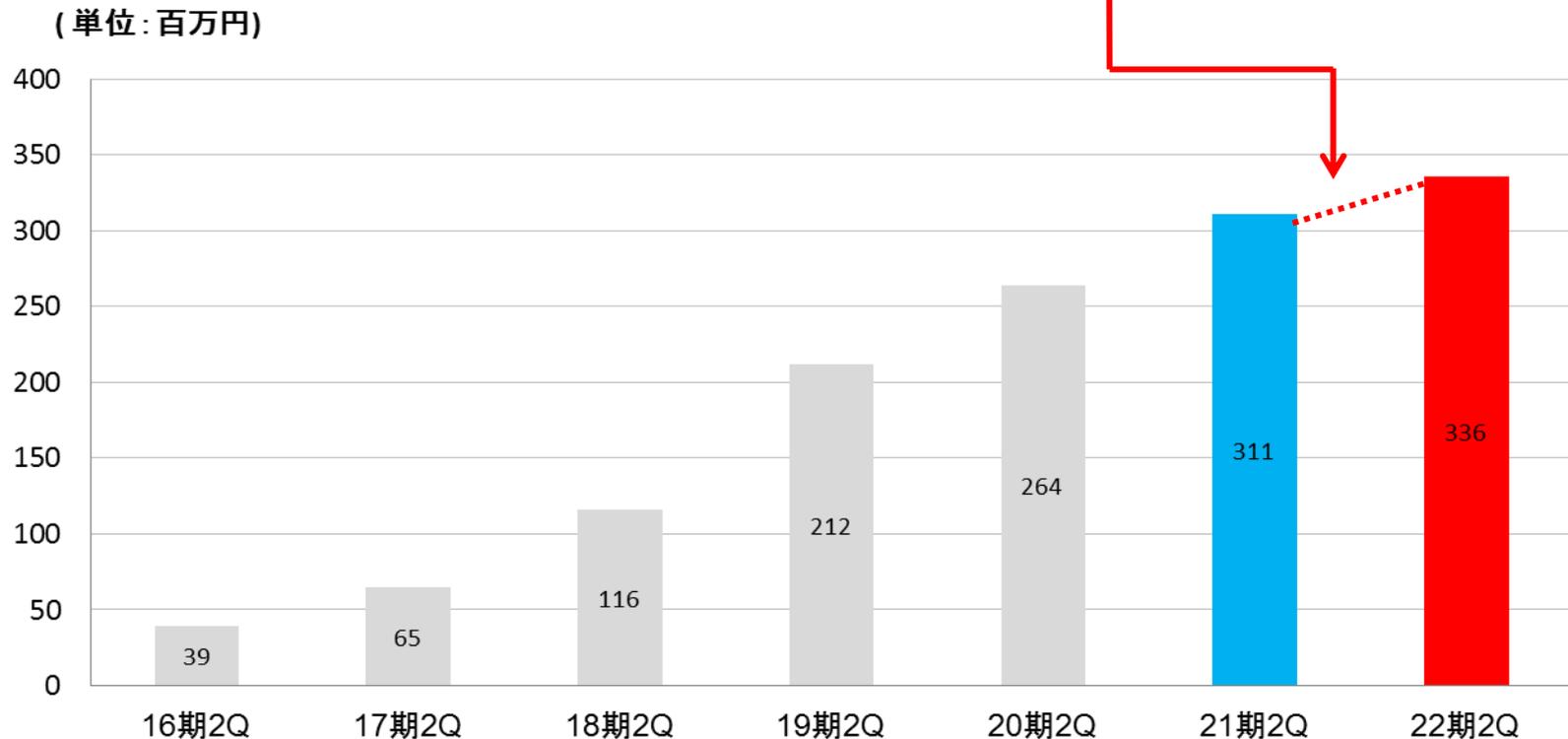


※1 PV(Present Value)とは当該期の新規契約より発生する保険手数料の収入見込額の現在価値を表し、申込ベースの金額から成立率、解約率、還元率を勘案して算出されたシミュレーション数値です。

※2 第18期上期より手数料率及び継続率等を最新の情報に見直しを行う等、算出方法の変更を行っております。当該変更に伴い期間比較を容易にするため、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

## 再保険事業収入推移

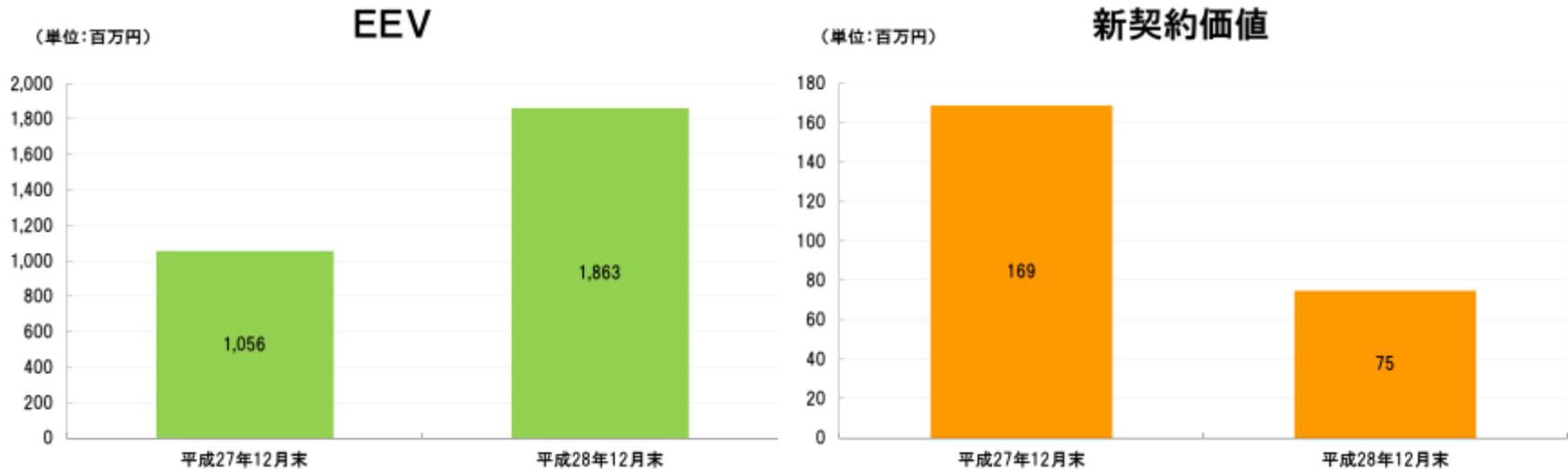
再保険事業収入は引き続き伸張し、**前年同期比8.1%増**



**11社(生命保険7社、損害保険2社、少額短期保険2社)の再保険引受**

## EEV推移（再保険事業収益現在価値）

再保険子会社Advance Create Reinsurance Incorporatedの平成28年12月末現在のEEV（ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー）は1,863百万円、当期の新契約価値は75百万円



※1 EV(Embedded Value)とは、潜在する株主配当可能利益の現在価値を示す指標であり、新契約獲得時に将来の利益貢献を認識することにより、財務会計情報を補足する指標となります。当社は生命保険会社で広く採用されているヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)を採用しております。

※2 EEVの計算は、専門的知識を有する第三者機関である有限責任監査法人トーマツに検証を依頼し意見書を受領しております。修正純資産、保有契約価値、新契約価値等の用語の意味並びに詳細な計算方法及び有限責任監査法人トーマツによる意見は、平成29年5月12日に開示しております「平成29年3月末におけるアドバンスクリエイトのプレゼント・バリューと平成28年12月末における再保険子会社のヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

## Ⅱ. 当社の戦略について

---

## 当社の保険通販専門代理店としての変遷

ポスティング(1997年)



WEBマーケティング(現在)



保険通販専門代理店という一貫した軸

ロジスティクス



データベース



高い認知度



高い生産性



## ビジネスモデル

### 収益のポートフォリオ

代理店事業・メディア事業・再保険事業・ASP/BPOにより、  
保険に関するあらゆる収益機会へのアプローチ

※ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダ)、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

### チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ  
ネット完結・通信販売・対面販売・協業へと繋げる

## WEBマーケティング

# 保険業法改正後、変化に対応すべくマーケティング手法を見直したことにより資料請求数・アポイント数※が増加

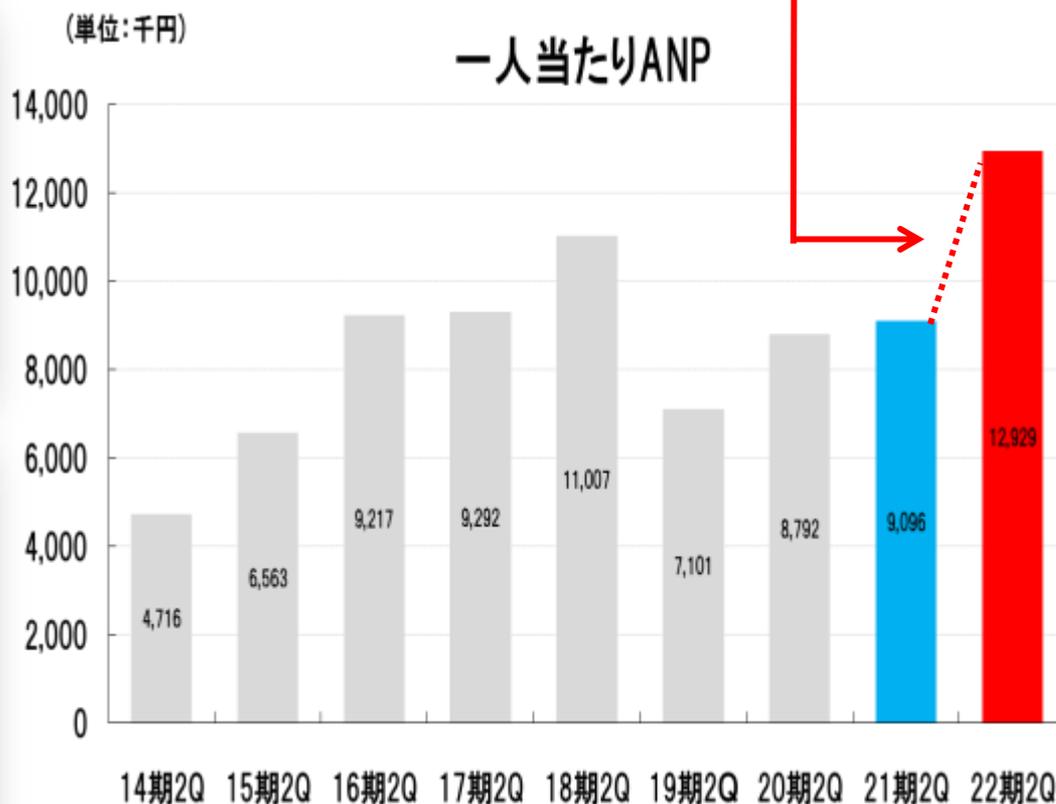
※アポイント数とは、Webから対面販売チャネルに誘導した商談数となります。(対面拠点で獲得したアポイントは含んでおりません。)

### < 四半期対比(3ヶ月) >



## 対面販売チャネル

生産性向上施策により一人当たりANP  
 <四半期対比(3ヶ月)>は、**前年同期比42.1%増**



## 投資戦略

### ROI（投資対効果）の極大化を図る

#### IT・システム投資

- システム投資の継続・強化
- 『IT』から『AI』へ  
→ AIと人材の相乗効果により、より高い次元でのセキュリティと環境変化へのフレキシブルな対応

#### 人材投資

- 採用活動の強化
- 積極的な人材投資
- 福利厚生制度の充実



## 管理体制の強化

### 従前より整備を行ってきた管理体制を強化・継続

#### 改正保険業法への対応

- ◆ 改正保険業法に対応したシステム開発及び各種研修を継続的に実施

#### ガバナンス体制・コンプライアンス体制

- ◆ 各種特設委員会の運営  
(ガバナンス委員会、コンプライアンス委員会、社内プロジェクトチーム 等)
- ◆ コンプライアンス研修の実施・自社法務部門による牽制

#### 情報セキュリティ

- ◆ 個人情報保護体制の構築・情報セキュリティ監査の実施
- ◆ 担当部署による有人監査体制の確立

#### 提携先代理店の 個人情報管理体制の確認

- ◆ 提携先の管理体制水準の向上を目的とした監査の実施

## 株主の状況

【平成29年3月31日現在】 株主数 6,720名 (単元未満株主を含む)

■ 上位10名

株主名	所有株数	持ち株比率(%)
有限会社濱田ホールディングス	2,206,200	20.05
濱田 佳治	763,600	6.94
住友生命保険相互会社	549,600	4.99
メットライフ生命保険株式会社	549,600	4.99
濱田 亜季子	472,700	4.29
富国生命保険相互会社	450,000	4.09
太陽生命保険株式会社	365,500	3.32
AIG富士生命保険株式会社	273,000	2.48
三井住友海上火災保険株式会社	249,400	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	241,700	2.19

## CSRの取組み

### 「大阪マラソン2017」への協賛・参加

社員の健康増進に加え、広く一般市民のスポーツ活動を積極的に応援



©Osaka Marathon 2016

### 「関西大学・社会安全学部・寄附講座」を担当

社員講師による講義を実施



## 決算情報ハイライト

連結	18期 通期実績	19期 通期実績	20期 通期実績	21期 通期実績	22期 通期予想	前期比
売上高	7,625	7,462	7,274	7,295	7,910	8.4%
営業利益	1,295	1,131	1,153	954	1,030	7.9%
経常利益	1,258	1,107	1,143	926	1,000	7.9%
当期純利益	648	655	644	582	600	2.9%
売上高経常利益率	16.5%	14.8%	15.7%	12.7%	12.6%	
ROE	16.2%	15.6%	14.1%	12.4%	13.3%	

### 【株主還元】

平成29年9月期の配当については、第2四半期・期末ともに1株あたり22円50銭、年間合計は1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

## 目標とする経営指標

ROE	20%以上
売上高経常利益率	20%以上
配当性向	50%以上
自己資本比率	80%以上



## お問合せ先

**管理部**

**長原 美幸**

**TEL**

**06-6204-1193(代表)**

**メールアドレス**

**acir@advancecreate.co.jp**

**URL**

**<https://www.advancecreate.co.jp/>**